

子どもにツケをまわさない

熊谷から元気を発信する新しい1年のスタート

自民党

www.jimin.jp

埼玉県
議会議員

てつや NEWS レポート 2011.Vol12

高崎線が東京駅に乗り入れる平成25年は、熊谷にとって新たな工場稼働・大学開校などの大きな変化が生まれます。

その時こそ子どもにツケをまわさない地域社会の創造、つまり子ども達はもちろん、ご年輩・環境にも、全てに優しい理想の地域づくりが加速できるチャンスであるとしてつやは考えるのです。

そのために全力で走る力を住民の皆様になんげつづきながらまずは2011年を頑張り抜く所存です。

小林てつや



熊谷を理想的に
変えるための

てつやが目指す 9つの目標

- 1 都心を身近に感じるまちへ
- 2 安心して学べる学校へ
- 3 農業情報発信基地へ
- 4 医療体制の充実化へ
- 5 安心の中小企業経営へ
- 6 福祉の整った環境へ
- 7 個性豊かなまちへ
- 8 元気なスポーツのまちへ
- 9 まちぐるみの子育て支援へ

「住んでみたい」「住んでよかった」
そんな声が聞こえる・実感できるまちを目指して!

埼玉県議会12月定例会報告

平成22年12月1日(水)～22日(水)



発達障害児の支援について

県設置の「子どもの発達支援プロジェクトチーム」4部会で集中検討を行い、早期発見、早期支援、親の心のケアの大切さが確認され、相談、診療、療育を一貫して受けられる中核施設の必要性和、発達障害児に特化した部署を取り組むべきとの提案に対し、来年度の体制の中で作り上げたいとの上田知事の考えが示されました。



防災ヘリコプター購入と今後

過日墜落の防災ヘリ代替機の入札が終了し、三井物産エアロスペース株式会社(1機14億8995万円)に決定しました。山岳救助活動ガイドラインを活かし、登山愛好家に考え方などのご理解を求め、不測の事態に備えた訓練体制の一層の充実を図ります。



どうなる子ども手当

平成22年度限りの暫定措置として、児童手当と併せた支給となり結果的に制度設計の時間が足りず、財源が確保できませんでした。去る11月九都県市首脳会議で、来年度は地方に負担を転嫁することなく全額国費で行うように求める決議を採択し内閣総理大臣をはじめ関係各大臣に要請を行いました。





小林てつやは地域社会のために頑張る皆さんを応援しています

新しい取り組みも大切ですが、それぞれの分野で地道に努力を重ね、常に縁の下の力持ちとして活躍されてきた方々にこそ光を当て、エールを贈りたいを思うのです。そんな皆さんとの対話をダイジェスト版にまとめてみました。



てつやの対談

森の恵み再生に命尽くして半世紀 シリーズ vol.1



伊佐山悦治さん & 小林てつや

大正13年7月熊谷市生まれ。県の公務員を経て、晩年は国の機関に転出。熊谷山草会会長、大麻生地区自治会長などを歴任。ライフワークは自然の森の再生を環境保護

熊谷市の南西に位置する県営荒川大麻生公園「野鳥の森」。この森に関わり半世紀、絶滅危惧種が20種類以上あるこの自然林の再生に尽くしてきた人が故・伊佐山悦治さん(84歳)。平成12年から山草会のメンバーと種から苗木を作り植樹を繰り返す根気のいる作業をしてきました。

上田知事は「彩の国みどりの基金」を創設。今後2年間で約3000ヘクタールの緑の創造を行う方針を示しています。

埼玉に熊谷リトルシニアあり! シリーズ vol.2



熊谷リトルシニア監督猪爪義治さん & 小林てつや

1978年5月熊谷市生まれ31歳。プロ野球・パシフィック・リーグに1999年ドラフト4位で西武ライオンズに入団。投手。右投右打。埼玉工業大学深谷高等学校出身。

創設7年目にして全国から注目を浴びているクラブチーム。本格的に高校野球を目指す中学生らの要望に元西武ライオンズ投手・猪爪義治氏が立ち上げました。日本リトルシニア野球全国選抜大会出場、春季関東大会ベスト8、東北連盟創立35周年記念全国選抜大会、北関東支部準優勝と確実に成果を挙げ結果を残しています。「プロになりたいというのは夢だけじゃない。手の届くところにあることを知って欲しい」と夢見る子ども達を全力でバックアップしています。

親と子どもが望む社会実現のために シリーズ vol.3



オレンジリボン命は人の和の中に代表大崎佐智恵さん & 小林てつや

昭和38年7月熊谷市生まれ47歳。「オレンジリボン命は人の和の中に」代表、くまがやピンクリボンの役員。介護職員を経て、ライフワークは子育て支援とがん撲滅運動。5人家族、二男の母。

年間で約60人。これは虐待で命を落とす子どもの数です。人権侵害やストレスから虐待に走るリスクが高い子育て初期の親たちに、地域でサポートできないかと、大崎さんの呼びかけで児童虐待防止「オレンジリボン」運動がこの地で立ち上がりました。有識者や専門家、教育者ではなく、同じ子育てをしている自分にできることはなんだろうと考えます。

昨年度、熊谷市では300件の相談件数があり、具体的な事案は60~70でした。男性の一人親も増えています。本来、地域や家庭が持っていた共助の機能をこれからは公助へと広げ、もっと手厚くありたいと思います。

サロンてつや Salon de tetsuya

理想を希望のまま終わらせないために!

そのために様々な活動を行う日々。「てつや」の「記録」をじっくりとご覧ください



みどりと川の再生フォーラム

みどりと川の再生フォーラム「植樹」

美しい川を取り戻して

東日本実業団駅伝大会

東日本実業団駅伝大会 増田明美さんと

環境委員会視察 エネオス熊谷

石原伸晃自民党幹事長と

環境委員会にて

都幾川中学校 県産材木を使用した校舎

Don't be alone 熊谷の子育てシンポジウム

熊谷市成人式

W杯ラグビー誘致のため 森元首相と対談



ご意見をお寄せください

埼玉県をもっと素敵に変えるための熱いご意見・ご要望・メッセージをご記入の上、事務所宛にファックスをお送りください。

小林てつや県政調査事務所

〒360-0847 埼玉県熊谷市籠原南 2-18 TEL 048-530-1211 E-mail: tetsuya@ps.sky.ne.jp http://www.guts-kobayashi.com/

Fax 048-530-1210 24時間受付中



てつやの成果

円滑な交通確保を目指すてつやの努力が少しずつ形を見せ始めました。特に熊谷警察署交差点の混雑解消は嬉しいですね。

てつやの新年

卯年にふさわしく大きな飛躍の一年となるようお正月早々精力的に活動開始! さらなる活躍にご期待ください。

profile

- 小林 哲也 ●自由民主党 ●埼玉県北6区 ●1959年4月5日生(51歳) ●平成15年 埼玉県議会議員選挙初当選 ●平成19年 埼玉県議会議員選挙連続2回当選 ●熊谷市健全育成市民会議 三尻支部長 ●NPO法人日本モンゴル友好協会理事 ●NPO法人マイスターバンク理事 ●埼玉県ラグビーフットボール協会 副会長 ●熊谷市バドミントン協会 会長 ●熊谷市ソフトボール協会 会長 ●熊谷市スキー連盟 会長 ●保護司 ●さくらファンクラブ 副会長 ●ラグビースクール第一期生 ●平成19年 県土都市整備委員長 ●平成20年 文教委員長 ●平成21年 企画財政委員長 ●平成22年 環境農村委員長